



週報

2015~2016 年度 RI 会長 K.R. ラビンドラン
RI のテーマ 『世界へのプレゼントになろう』
第 2570 地区 ガバナー 高柳 育行

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕 狭山東武サロン〒350-1305 狭山市入間川 3-6-14 TEL 04-2954-2511
〔事務所〕 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48 TEL 04-2952-2277 FAX 04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@pl.s-cat.ne.jp
会長 江原伸夫 会長エレクト 佐藤圭司 副会長 浜野貴子 幹事 小島美恵子

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 1055 回(9 月 15 日)例会の記録

点 鐘 江原伸夫会長
合 唱 我等の生業
第 2 副 SAA 佐々木君 柴田君

※出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
36名	26名	71.43%	88.57%

会長の時間

江原会長



私共の会社では毎月最初の営業日に朝礼を行っておりますが、開局以来 10 年間、毎月私が口に行っていることがあります。もしも自分がその立場であったら、今の状況・対応・言葉づかい等々に納得できますか？と。そのためにも、日頃から共に働く仲間たちにも思いを馳せらせ、気になる点を改善していくことが、足を運んでくださる方々への信頼に繋がっていくのではないかと考えているからです。

冒頭になぜこの話になったかと申しますと、ここ数か月、朝礼前に頭に浮かぶある番組のことをお話ししようと思ったからです。当クラブは朝の目覚めの早い方が多いのではないのでしょうか。したがってご覧になった方もいらっしゃると思います。もう大分前になりますが、通勤途中に点けていた某テレビ局の朝の番組で、ある高校生と就職

した先の会社との関係について取り上げた番組を放送しておりました。聞いていて、不思議と暖かな気持ちになりました。

それは、母子家庭で母親の体調も優れないため、家計が苦しく、大学には行かず、高校を卒業したら働く決めていた彼は、家計を助けるためにガソリンスタンドでアルバイトをしながら就職口を探しておりましたが、地元では希望にかなう就職口がなかなか見つからず悩んでいたそうです。しかしながら女手一つで苦勞して育ててくれた母のためにも、何としても地元で就職したいと考えていたところ、毎日のように給油に来て下さる会社の方々に、高卒の採用はしていないのですかと尋ねたそうです。残念ながらその時は高卒の募集はしていなかったのですが、ある社員の方が「なぜ君は我が社を希望するのですか」と尋ねたところ、彼は社員の方の目を見て、「いつも給油に来るどの作車も整理整頓されているのを見ていて、どの社員の方々も会社の作業車をこんなに大切に扱っている、そんな先輩たちのいる会社で頑張りたい」と語ったそうです。

また、その理由を聞いた社員の方が感激し、そのことを社長に伝えたところ、社長も、自分の会社にもそのような理由で入社したいと話した高校生に心を動かされ、急ぎよ求人手続きを行い、彼を育てた母親を交えて面接をしたそうです。置かれた環境への考え方、見守ってくれている人たちへの感謝の気持ち、聞くほどにこの高校生の奥深い優しさを知り、採用試験も成績優秀であったため即座に

採用を内定した、とのことでした。(この社長も素敵な方ですね)

因みに、番組で取り上げたこの話題は、鹿児島県の南日本新聞10月9日記者の目で掲載された「整頓されているから」に注目し、卒業後、就職先(宇都電設)で一生懸命働き始めた彼とご家族、社長、社員の方々へのインタビューなどを交えて放映されていました。

またこの記事は、読者が投稿し、2014年度の日本新聞協会の「HAPPY NEWS大賞」を受賞しています。投稿者は「どんなに、立派なことを言っても、普段の行動を他の人が見たときに、どう思われるかだな、と改めて思いました。」と言っています。

誰がいつ・どこで・どこを見て評価するのかわからない。社員一人一人の日々の行動がその会社の信頼や信用となり顔になるのであらうと感じましたので、ちょっと余計でしたが、まだまだほど遠い我が社の朝礼の話を冒頭にしてみました。

なおこの高校生ですが、希望して入社した会社で信頼している先輩方とともに、毎日充実したなかで、仕事に励んでいるそうです。

我がクラブの皆様方の日々の言動が、当クラブへの入会希望者の増員に繋がる大きな要因になるかもしれませんので皆様宜しくお願いいたします。

幹事報告

小島幹事

1. ロータリー財団遺贈友の会の新規/追加誓約に感謝の意を表す方法についての参考資料について。
2. 地区ブライダル委員会より ロータリークラブ主催のブライダルパーティー「登録者推薦」のお願いと 第一回 ブライダルパーティーのご案内について。10月18日(日)紫雲閣2F
3. 航空自衛隊入間基地 入間航空祭のご案内について。11月3日 9時~15時
4. 受贈会報 所沢西 RC
5. 回覧物 ハイライトよねやま 186
医療法人 尚寿会広報誌 第99号
バギオだより 9月号

委員会報告

親睦活動

園部委員長

今年12月3日~4日、秩父夜祭に1泊で行く予定です。この時は夜間例会を兼ねての旅行ですので、皆さん是非参加して頂きたいと思います。行程を簡単にご説明致します。

3日(木)、狭山市駅をだいたいお昼過ぎ頃の出発予定です。そしてそのまま秩父のホテルへ向かいますが、ホテルは『秩父農園ホテル』、これは秩父のロータリークラブ、横のつながりがありましてやっと取れたホテルでございます。

皆さんバスで向かいますが、向こう着16時~16時30分頃でしょうか、そのまま夜間例会と懇親会を設けまして、19時までにお祭りを見る会場まで行きたいと思っております。2次会場は秩父神社の向かい側の店の2階と4階を確保しております。こちらもやっと取れた会場です、ちょうど山車が神社に入っていくところがご覧になれると思うので、とても良い場所です。

4階はちょうど花火が目の前に見えるということで借りました。なかなかこのように見る機会はないと思いますので、是非皆さんご参加して頂きたいと思います。今のところ25名の参加のご連絡を頂いているのですが、40名まで見込んでおりますので、今バツをつけた方もマルにして頂きたく、皆さん宜しくお願い致します。



「会員卓話」・・・・・・・・

奥富 喜平 会員

皆さんこんにちは。

私の日常は、だいたい午前中に会社へ出て、午後からはプライベート的なことをしているのですが、いかんせん一番さびしいことは、だんだんビジネス



の友達が減ってくるということ、その分息子たちの方へ連絡が入るのですが、一日の電話数の中で考えますと、本当にさびしいと思っております。

中央ロータリーの皆さんは本当にお金持ちで、そして70代の方が15～16人いらっしゃいます。そんなところで、老人的なお話を少しお話させて頂きたいと思えます。

昨年私の母親が107歳で亡くなり、先日1周忌になりました。107歳という年齢で、どのような生き方をしてきたのかと考えますと、90代位までは私の住まいと同じ屋敷の中で、廊下がつながって、自炊をしておりました。しかしガス、電気の消し忘れ、よく鍋を焦がしたりするもので、非常に神経を使っておりました。あるきっかけで施設に入ることになりましたが、狭山市内ですが3カ所、変っております。私の知り合いの事務関係の方に教えて頂いて厄介になったのですが、特養ではなく、特に私の母は我儘で個室でなければ嫌だと頭から決めつけるような人でしたので、個室ということで、そうとう施設の方にご迷惑を掛けたのですが、14年間病院で生活をしておりました。その間に週3日位は病院側から家族に来て欲しいと、手に負えない時があるということで、1人雇い、後は家族が行くということで、だいたい1日おきには母の所へ行くという生活をしておりました。99歳白寿の時には大生病院におりましたが、寶積先生もお元気で、一緒に写真を撮りました。その時の先生の元氣そうなお顔を見ますと、胸がグンとくる思いが致します。

100歳を過ぎてくると、特養であれば預ければなしということもできるのですが、車椅子で病院

の中を歩く、妹兄弟たちが押して外を回るといったことをしておりました。頭だけはしっかりしており、俺の持った金は使いきる、使い切ったときは終わりだと言っておりました。本当にいよいよ持ち出しになるかと思っておりましたら、昨年朝会いまして、そして私が県の祝賀会に参加し、夕方パーティーが始まりましたところに電話があり、急いで帰ったのですが間に合いませんでした。本当にぽっくりと亡くなりました。お金もほとんど使い切りました。どうしても月に30万円位は最低かかってしまいます。そのようなことを14年間やってきて、自分の宣言した通りに亡くなりました。

先日NHKのスペシャルで、老後破産、長寿という悪夢とありましたが、ドキュメンタリーが小説に書かれております。一昨日ですか、私は紀伊国屋で見たのですが、皆さんは直接このドキュメントについては関係なく、しかし夫婦でうまく年金生活をしていたところに病気になる、すると今度は医療費がかかる、そのために結局自分の持ち物を使っていくということで、年金ではどうにも間に合わなくなり、最後は国のお世話になるといった方が増えているということが書かれておりました。

100歳以上という年齢は、63年前153人でした。98年代に1万人、そして今年は約6万人ということです。私の母は明治40年生まれですが、明治36年生まれの112歳の方が男子の最高齢者ということです。

私も12月に78歳という年齢になります。自分の体力というものを非常に過信しておりましたが、何かこの頃少し、頭が痛い等ございます。私は車好きなので、車に乗ることに強い信念を持っております。最後まで車は乗りたいと思っております。ここで車を買って替えないとまずいかなとも思っております。やはりスピードが出せないと後ろから追突されることもあり、先日も佐久まで行ってきたのですが、高速を走っているとどうしても加減をするもので、一般の車に乗って適度に走るのが良いかと思っております。

体力をいかに維持したら良いのかということ、そして親の生きざまを見ておられますと、将来自分達がどのような生活をするのかということ、金さん銀さんが105歳位でテレビに出ていた頃、この

お金をどうするのかと聞いた所、老後に取っておくといっておりました。

今は民間型と公共型の有料老人ホームがございます。そして私の親を見ていて、子供達の世話にはならないということで、何件か私も老人ホームをたまには見に行っております。先日も所沢に見に行き、やはり入居金が3000万円位、そして月々20～25万円位かかるようなのですが、健康型なので、悪くなり自分のことができなくなると、介護型のほうに移るといことです。しかし介護型の方を見ると非常にさびしいです。

これからの人生、お金を出せば1.5人に対して1人などという介護病院ですと、やはり5000万円位入居金を払わなければ入れません。普通の介護型ですと3～5人に1人ということなのです。そうしたことを色々と、今のうちから時間があれば、計画していると良いかと思ひます。

民間の所へ入れば、それなりのお金は掛かるといこと、やはり特養がとても無理といことになってくると、将来私達が健康でいながら、どうい死を迎えるかとい事だと思ひます。

最後に受け売りですが、生きているのではなく、これからは生きていくとい心掛けで、毎日生きていきたいと思ひます。宜しくお願ひ致します。

石川 章 会員

皆様こんにちは。

今日は一番身近な、割烹喜代川についてお話しさせて頂きたいと思ひます。

今年が平成27年、昭和に直しますと90年、ご当地狭山市入間川で割烹

喜代川が産声をあげましたのが昭和2年ですので、おおよそ90年、ご当地で営業をさせて頂いております。私は生まれも育ちも喜代川なので、小さい頃からお手伝い、小遣い稼ぎ、アルバイト等といった形で喜代川とは接点を持ってきました。私が喜代川に正式に入社したのが、24～25歳、現在56歳なので、これまたおおよそ30年位喜代川と接しております。昔から10年ひと昔、今はスピードが速い



ので5年ひと昔、そうしますと私が入社した30年前と現在ではかなり違います。そんなことを、喜代川を通してお話させて頂きたいと思ひます。

まずはお祝ひ事、今でも七五三のお祝ひ、新築祝ひ、卒業のお祝ひ等々色々ありますが、喜代川は以前、現在を迎えて断トツに多いのが結納でございます。以前は土曜、日曜、祝日、それも大安などの良い日、そしてお祝ひ事は午前中といこと、ほとんどのお客様が二部屋をご利用です。一部屋で結納をとりかわし、そしてもう一部屋で御会食です。男性の方はスーツ、女性の方はあまり歳がいつていなければ成人式の振袖、もしくは失礼に当たらない恰好でした。それから30年が経ちました。現在は月・火・水・木・金・土・日、昼でも夕方でも夜でも、そして大安でも仏滅でもOKです。そして今は結納とは言ひません。電話で予約頂くときに、親族の顔合わせといことでご予約頂きますので、もちろん部屋も一部屋で用が済んでしまいます。男性はスーツ、女性は着物の方はほとんどおりません。だいたい失礼に当たらない洋装で、中にはジーパン、ポロシャツとい方もいらっしやいます。

続きまして仏事です。今でこそ各お寺さんが～会館や～ホールといものを持っており、街中で車を運転しておりますと、～セレモニーといった看板をよく目にします。しかし今から30年前、まだそういったものがさほどありませんでした。昔から狭山、入間川では、法事をするなら喜代川がよいといわれて、よく皆さんご利用なさせて頂いております。ただ断トツで昔多かったのは、火葬場帰り、ある時突然電話がかかってくる。もちろん亡くなる時もある時突然なので、これは仕方のないことなのですが、だいたい今日、明日で、火葬場の関係で3～4時くらい、どうですかといものです。その当時は火葬場帰りといものが、法事を抜いて本当に多かったのです。ですから部屋さえ空いていれば、うちのほうもどうぞい形でお受けしておりました。

以前は、だいたい1周忌、その翌年が3回忌、単品でなさる方、セットでなさる方がいらっしやいました。今ではだいたい49日、納骨の後の御会食、それから数か月した1周忌、今は3回忌とい

うことはほとんどなくなってしまいました。

次に煙草です。中居さんが宴会場小部屋のテーブルの上にランチョンマットを引きまして、箸置き、箸、お猪口、グラス、そしてお刺身の醤油の小鉢を置きます。そして下の方が、背もたれ、座布団、そして2人の一つずつの間隔で灰皿を置いておきます。宴会が終わった後、そして小部屋で御会食が終わった後、大なり小なり灰皿は汚れておりました。今、部屋で煙草を吸う方も時々いらっしゃいますが、ほとんどの方が通路もしくはロビー、灰皿は部屋の隅に山のように積み上げられてそのままです。

お支払ですが、今でも昔でも、会社関係の方は会社に請求書を送っておいてほしい、もしくは帰り際に名刺を出して、ここに請求書を送ってくれ、あとは断トツで現金です。今から30年位前、1~2ヶ月に1人、1組位カード払いという方がいらっしゃいました。カードを預かり、ガチャンという形の複写で、まず24時間対応しているコールセンターに電話を致します。カード番号を言い、飲食で~円だと、そうしますと向こうの担当の方がデータで、だいたい~歳位の男性の方ですか?といった確認をして、はいと答えると、そこで初めて承認、もしくは認証番号が頂けまして、それを書き、後はお客様にサインをして頂き、事務処理という形をとっておりました。しかし最近は違います。断トツでカードです。日によっては現金収入ゼロ、全てカードということもあります。うちもそれに追いつかなければ困ってしまいますので、オンライン、カードをさっと通すだけのもので、対応しております。

お祝いの方もカード、仏の方もカード、今年の夏もありました町内の暑気払いも、幹事さんのカードです。払ったら町内会費でもらうから、ポイントが貯まるからカードにして欲しいということです。

送迎バスとチップです。喜代川が送迎バスを始めたのが平成元年、飲酒関係のことから送迎バスを出して欲しいという要望がお客様から多かったため、マイクロの無料送迎バスを始めました。今のバスで3台目です。1台目は盗難、2台目は排ガス規制ということでこの界限では乗れなくなってしまい、そして今の車で3台目です。

チップですが、今も昔も会社関係の忘年会、新年会といった形でチップを頂いたことはありません。

しかしお祝い事、仏事は、だいたい10件に8件位、昔はチップを頂いたものです。だいたいティッシュペーパーに包みまして、運転手さんこれ少ないけれど、と頂き家によってはきちんとして、~家と書いて、本日お世話になりますと頂いたものです。10件のうち8件位は頂きましたので、よい小遣い稼ぎにはなりましたが、しかし近年はゼロです。

あとは飲酒運転です、私が入社した30年位前は、飲酒運転はごく普通でした。お酒を提供している店なので、毎日のように飲んで運転してお帰りになる方を見ておりましたし、そういうものだと思っておりました。ところが何年か前、九州かどこかで事故があったときから、飲酒運転とは非常に厳しくなってきました、かなり厳しくなったときに一度お客様がぐっと減ってしまいました。30年位前は、運転代行もほとんど無かったと思います。今この町内に5~6件あるのでしょうか、飲んだら乗るなという形です。ありがとうございました。



江原君 奥富会員・石川会員、本日の会員卓話楽しみにしております。

※10/17のフリーマーケットの品を皆様には極力多く抛出して頂きたくその旨、何卒宜しくお願い申し上げます。

小島君 奥富会員、石川会員本日の卓話楽しみにしておりました。宜しくお願い致します。

浜野君 奥富会員・石川会員 会員卓話ご苦労様でございます。楽しみにしておりますのでよろしく願い致します。

益子君 奥富会員・石川会員、卓話楽しみにしております。よろしく願い致します。

佐藤君 ブタ草の花粉症で鼻がグジュグジュです。本当に季節に敏感なカラダになってしまいました。本日の会員卓話、奥富会員・石川会員宜しくお願い致します。



※次の例会 第2副SAA 高田君 田中(隆)君
10月6日(火) 12:30~13:30
鈴木ひとみ様 著書「車いすの花嫁等 他」